

WEEKLY BULLETIN

2023-24

Rotary Club of Mino

国際ロータリー 第2660地区 箕面ロータリークラブ

会長 黄堂 泰昌 幹事 河野 優作 広報委員長 水島 教絵



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2660地区ガバナー 延原 健二

例会場 箕面観光ホテル 例会日 毎週木曜日 18:30~

事務局 〒562-0006 大阪府箕面市温泉町1-1(箕面観光ホテル内) Tel:072-724-2781 Fax:072-724-1786

Email: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/

NO.2559

2023年7月27日発行

●今週の例会プログラム

2023年7月27日(木) 第2566例会

新年度方針

出席向上委員会、情報規定研修委員会
箕面観光ホテル

真実から目をそむけることはできない。助けを求めるとは勇気ある行動です。
健康と幸せにいたる道を求めるとは、さらに勇気がいることです

◆前回例会◆

出席報告

2023年7月20日(木) 第2565回
会員数34名 出席者20名(出席率60%)



黄堂 泰昌

ニコニコ奉仕金について

今年度のニコニコ箱への奉仕金目標額は一人当たり35,000円としています。これは前年度の踏襲ではありますが、昨年度の奉仕活動の延長を想定してのものです。また今後さらに新たな奉仕活動を行うためのものもあります。

ご理解をいただいているかとは思いますが、クラブの各奉仕委員会の活動費は、各会員からいただくニコニコ箱への奉仕金で賄われています。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年活動、ロータリー財団、米山奨学会の各委員会の費用です。その他、地元の団体などへの後援・協賛金、各会員への誕生日プレゼントの費用も含まれます。

今年度は、社会奉仕事業としては、地区補助金事業の「北急延伸に伴う2つの新駅(箕面船場阪大前駅と箕面萱野駅)周辺施設へのAEDの寄贈と救急救命講習会の実施」を予定しています。この事業は総費用の半分をロータリー財団からの補助金と残りの半分をクラブからの事業費で負担して行なうマッチンググラント形式のロータリー財団補助金事業です。また、今年度は55周年記念事業として同じく北急延伸に伴う新駅開業のイベントに参加する予定です。詳細はこれから実行委員会で検討する予定です。具体的な奉仕活動が予定されているのは以上です。

ニコニコ箱への奉仕金は、クラブが一体となって奉仕活動するための資金ですので、皆が目標額を達成していただきたいと

●次回の例会プログラム

2023年8月3日(木) 第2567回例会

新年度方針

米山奨学生委員会、親睦活動委員会
箕面観光ホテル

切に願っています。切に願うと言ったのは、これは義務ではなく、あくまで皆さんの御志による寄付だからです。ですから、何か良いことがあれば、その喜びを他と分かち合うのが奉仕の精神の現れと考えていただきたいので、目標以上のものであっても良いことになります。

クラブの方針や会長が各委員会に何をするのかを決めるわけではなく、また委員会に予算をつけて奉仕活動を強要することもしません。少なくとも私はしません。

委員会の活動は各委員会で考えるべきで、どのような活動、どのような奉仕活動をするのかを考え、それを実行するにはどのような費用を必要とするのか、ではその為にいくらのニコニコ箱への奉仕を集めなければいけないかという目標を立てるのが本来の奉仕活動の在り方だと私は考えています。クラブ現況の原稿を幹事からお願いした際に、各委員長には活動計画とともに、予算の申請をお願いしましたが、申請はほとんど得られませんでした。よって、年度始めの各委員会の予算は、前年度の踏襲、あるいは残念ながら予算を「0」としている委員会があります。だからといって、委員会活動をしないでほしいという訳でも、制限するわけではありません。

奉仕活動は、費用をかけずとも人的活動にて充実したものにも出来ますし、費用を要する場合は理事会の承認によって追加することが可能です。今からでも結構ですので、委員会での活動について話し合ってみてください。

クラブ運営に係る委員会の費用は会費収入をもとにした一般会計によって処理されますが、奉仕部門の委員会活動費用は奉仕会計、すなわち会員の皆さんからのニコニコ箱への寄付収入によって成り立っています。

何かこれからでも奉仕活動を新たに年度内に実行したいという委員会活動があれば、申請をお待ちしています。新たに委員会予算をつけることも可能です。奉仕会計の繰越金もありますし、もし、目標額で足りなければ、さらにニコニコ箱への

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

寄付目標額を増額して、会員皆でさらにニコニコ箱へ協力すれば良いのです。誰か一人が負担するのではなく、クラブ全体で取り組むべきものです。あくまでクラブの奉仕活動なのですから。

年度始めにお願いした言葉をもう一度繰り返します。

クラブがあなたに何をしてくれるのかを問うのではなく、あなたがクラブに対して何が出来るか考えてみてください。

話は変わりますが、先般、青会員の御夫人が高熱の為に入院されましたが、一応治療を済ませ昨日退院されたとのことです。本来なら、リハビリ病院でしばらく療養のところ、ご本人の希望で自宅療養ということになり、青会員ご自身も看病と夏の暑さのためしばらく例会の出席を見合わせることです。皆様方にはご心配をおかけしました、と伝言を承っておりますことをご報告いたします。



河野 優作

◆幹事報告◆

【7月の例会】

- 20日 新年度方針 会員増強フォーラム
- 27日 新年度方針 出席向上委員会、情報規定研修委員会

【8月の例会】

- 3日 新年度方針 米山獎学生委員会、親睦活動委員会
- 20日 納涼例会 オルタナの森・MINOH 内レストラン
『MINOH GALLEY』
- 17日 卓話 青会員（変更の場合あり）
- 24日 ガバナー補佐訪問
- 31日 休会

◆7/20 臨時理事役員会◆

1. 今年度予算について → 承認
2. 入会希望者について → 承認
3. 新入会員の諸費用について → 雑費にて
4. あかつき福祉会「秋まつり」について → 出店にて参加

◆SAA報告◆

山根ひとみ

ニコニコ

黄堂泰昌会員：西田会員増強委員長、フォーラムよろしくお願ひします

前田建司会員：西田委員長、本日のフォーラム宜しくお願ひいたします

芝野弘三郎会員：会員増強フォーラムよろしくお願ひします

庄司修二会員：西田委員長、よろしくお願ひします

高橋太朗会員：本日もよろしくお願ひ致します

上島一彦会員：65才になりました

河野優作会員、木村貞基会員、今野翔太会員、水島教絵会員
西田泰会員、白坂昌子会員、山根ひとみ会員

米山獎学会

道林侑輝会員、林たかみ会員、黄堂泰昌会員、今野翔太会員
前田建司会員、水島教絵会員、西田泰会員、芝野弘三郎会員
庄司修二会員、高橋太朗会員

ロータリー財団

道林侑輝会員、黄堂泰昌会員、今野翔太会員、前田建司会員
水島教絵会員、西田泰会員、芝野弘三郎会員、白坂昌子会員
庄司修二会員、高橋太朗会員、山本貴雄会員、

ボリオ

河野優作会員、木村知也会員、前田建司会員、水島教絵会員
西田泰会員、芝野弘三郎会員、白坂昌子会員、庄司修二会員
高橋太朗会員、山根ひとみ会員

恒久基金

西田泰会員、白坂昌子会員、庄司修二会員、高橋太朗会員、
山根ひとみ会員

◆会員増強フォーラム◆

会員増強選考委員長 西田 泰

Agenda

- ・導入
- ・地区会員増強セミナーのご報告
- ・DEIについて
- ・考えてみよう！当クラブにふさわしい会員像について
- ・考えてみよう！当年度会員増強の取組について
- ・まとめ



はじめに

人が集まる九ヶ条（高野山真言宗 築港高野山 釈迦院より）

- ・人は人が集まる処へ集まる
- ・人は快適な処へ集まる
- ・人は噂になっている処へ集まる
- ・人は夢の見られる処へ集まる
- ・人は良いもののある処へ集まる
- ・人は満足の得られる処へ集まる
- ・人は自分の為になる処へ集まる
- ・人は感動を求めて集まる
- ・人は心を求めて集まる

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

地区会員増強セミナーのご報告(2023.5.20)

- ・公共イメージ向上とクラブ活性化について
2022・2023年 RI 研修リーダー 服部 陽子 様
- ・クラブ活性化について
地区クラブ奉仕・拡大増強委員会 次年度委員長 樋口 武英 様
- ・合併の目的と進め方
大阪御堂筋本町 RC 副会長 岡田 俊作 様
- ・少人数の魅力あるクラブづくり
高槻西 RC 次年度幹事 下園 大介 様
- ・衛星クラブ創設について
大阪西南 RC 衛星クラブ委員長 松崎 勝司

○会員増強の要点

- ・クラブリーダーの熱意
- ・会員全員のやる気

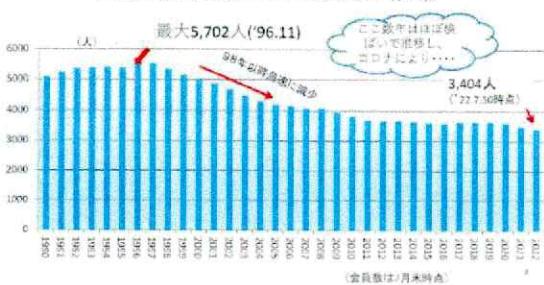
○会員増強のポイント

- ・クラブビジョンの策定
- ・戦略計画策定と見直し
- ・候補者のデータベース
- ・PRと候補者の勧誘
- ・入会後のケア
- ・退会防止

○群れの経営とクラブ活性化

- ・合同例会を開催する
- ・共同で会員増強をする
- ・各委員会活動を分担する
- ・イベントや勉強会を合同で開催する
- ・例会場や事務局を共同で利用する
- ・週報や機関誌を合同で発行する
- ・クラブ同好会活動を共同して行う

RI第2660地区の会員数の推移

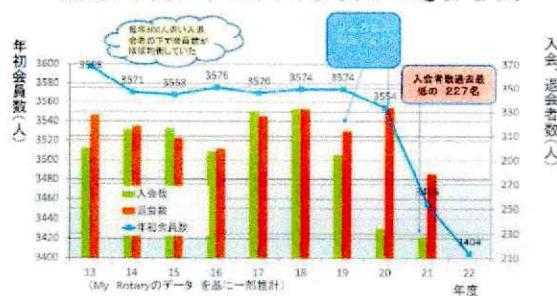


1996年には5,702人の会員がいたものの、その後急速に減少し、2022年では1996年の約60%、3,404人となっている。



50名以下のクラブが61クラブあり、全体の78%を占めています。30名以下のクラブに絞りますと、29クラブ、全体の37%となります。

最近9年間の年初(7/1)会員と入退会者数



コロナ禍において「入会者 < 退会者」が鮮明となっている。会員数を維持するためには、年間350から400人程度の新入会員が必要である。

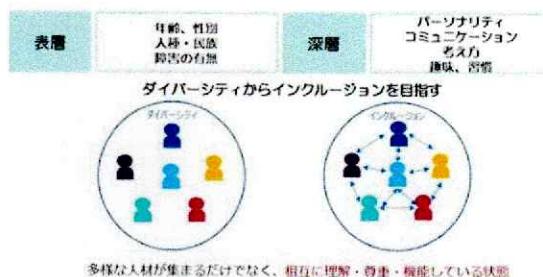
DEIについて

- ・Diversity (ダイバーシティ：多様性)
- ・Equity(エクイティ：公平性)
- ・Inclusion(インクルージョン：包摂)

年齢・性別といったSurface(表層)の観点だけでなく、価値観や考え方といったDeep(深層)の両方の観点から考える必要がある。

ダイバーシティ&インクルージョンとは何か

尊重し合い、組織に受け入れられており、自身のスキル・強みが発揮・評価されていると感じられる
「インクルージョン風土」の高いチームをつくることが大切。



☑ 4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

§理想的な会員像を考えてみよう§

「すべての人」、あるいは「どこかの誰か」ではなくて、一緒にロータリークラブの活動をしていきたい「理想的な会員像」を明確にすれば、「誰に」「どの様に」アプローチすればいいのかおのずとわかるようになります。

Topic1: Persona の設定

あなたが一緒に活動をしたいと思うメンバー像を教えてください。どんな人と一緒に活動したいのでしょうか。箕面ロータリークラブにふさわしい人はどんな人でしょうか？



ターゲットとペルソナの違い

① ターゲット：実在している『集団』

主に3つの属性（人口統計学、ビジネス、行動学）で絞り込む。

② ペルソナ：『個人』であり、実在しなくても良い人物のパーソナリティ（性格、悩み）、ライフスタイル（よく閲覧するメディア、休日の過ごし方）、人間関係（所属しているコミュニティ、友人の数）などで絞り込む。

ブレインストーミングの5原則

- ① アイデアに対して批判・否定をしない。
- ② 変わったアイデアを歓迎する。
- ③ 質より量を重要視する。
- ④ アイデアをまとめる。
- ⑤ 主觀（自分視点）と客觀（第三者視点）をうまく使う。



ブレインストーミングの例

- ・年齢は20代
- ・活発な主婦（主夫）
- ・国際奉仕・国際親善に興味がある
- ・犬を飼っている
- ・地域活動に興味がある
- ・箕面在住または箕面と繋がりがある
- ・色々な人と繋がりたい
- ・麻雀が好き
- ・子供が好き
- ・世界を変えたい
- ・自己成長に興味がある
- ・寂しがり屋さんなど



～Workshop～

グループ①

- ・女性の比率を上げたい
- ・医療関係者（実際に仕事に従事されている方）
- ・日本国籍以外の方
- ・文化人
- ・20代から30代の若者

グループ②

- ・会員を増やすには、いろんな職種の方が、毎回例会のゲストとしてお越しいただける環境を作る
- ・ゲストは様々な職種、性別、年齢の方をお呼びした方が良い
- ・作家、アーティスト、学者など
- ・普段非常にラフな格好でお仕事をされている方々
- ・今までの会員とは違った方々がお越しになることで会員増強に繋がるのではないか

グループ③

- ・清潔感があり金銭面に余裕がある
- ・メンタルが強い方
- ・元アスリートの方と繋がりたい（メンタリティを学ぶ）
- ・女性の会員を増やす

グループ④

- ・基本的にぶっとんだ方、個性の強い方
- ・子供にとても厳しく、でも実は子供好きな方
- ・明るい方、バイタリティーがある方
- ・一つの道を究めた方
- ・アーティスト、研究者、神職者、医者、教育者

グループ⑤

- ・必ず例会場で食事が出来る方

4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか

- ・IT関係者

§ 会員増強の取組について考えてみよう §

会員数は単なる数字であり、それ自体に何の意味もありません。やみくもに会員数を増やすのではなく、我々の活動に「共感」し、一緒になって拡げていく仲間を増やす必要があります。精神的に繋がる「共感」こそ、会員増強の根幹であると考えます。

Topic2: To increase membership in your club

会員増強には2つの意味があると考えます。一つ目は会員を「増やす」という意味です。二つ目は会員を「強くする」という意味です。ここでは会員を増やすにはどうすればいいのか、そして既存会員のコミットメントを強化するにはどうすればいいのかについて話し合っていきましょう。「変化」が必要であれば、何を変えるべきなのかについても考えてみてください。

～Workshop～

☆ブレインストーミング

- ・会員を増やすにはどうすればいいのか。
- ・会員のコミットメントを強化するにはどうすればいいのか。
- ・新たな取り組み。（今までと変えた方がいいところなど）

グループ①

- ・会員増強のためのゲスト例会の継続
- ・月4回の例会のうち1回を移送例会としゲストを呼ぶ

グループ②

- ・先程のペルソナで決めた方のいるコミュニティを訪れる
- ・共同作業をする。みんなで一つの目標に向かう機会を増やす
- ・海外のクラブとZoom例会を行ってみる

グループ③

- ・会員の職業的に特殊な能力や力に共感する時間を持つ。その様なことを通じロータリーライフが非常に洗練されていくと思う。そのような機会にゲストを呼ぶことによって、ゲストにも興味を持って貰い、共感を得ることができると思う

グループ④

- ・箕面RCを箕面の中での人材交流のハブとする。そのためゲストには都度参加していただく事が大事。その中でゲスト（何度来てもよい）延べ人数50人から100人を目指す。またゲストデーというのではなく、恒常にゲストにお越しいただくようなクラブ運営が出来るといいのではないかと思う。

グループ⑤

- ・ゲストデーにかかわらず、奉仕活動をしているところにもゲストに来ていただく
- ・このようなグループワークなどを見ていただくことで活気があることを感じてもらえる

【まとめ】

1. 会員増強に正解はない。（他クラブでの成功事例が必ずしも箕面RCで活きるわけではない）
2. 既成概念に捕らわれず活動することが重要。
3. 隣のあの人も実はロータリアンになる可能性もある。
4. 伝統と革新のバランスは常に意識する必要がある。
5. 活動量と会員数はある正比例の関係にある。



4つのテスト 言行はこれに照らしてから

01 真実かどうか

02 みんなに公平か

03 好意と友情を深めるか

04 みんなのためになるかどうか